

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップ御崎		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動のプログラムの充実と発信	色んなプログラムを週ごとに分けて、毎日15分の集団活動を行ない、その中で自然と集団生活に必要なスキルを身につけてもらう取り組みを行ない保護者に日々、伝えている。	プログラムがマンネリ化しないように職員で案を出し合い、充実を図るようにする。
2	参観日・保護者会の開催・実施	参観日ではおやつの様子や集団活動をしている児童の姿をもらい、保護者会ではセラピストと連携し【ユマニチュード】の紹介や【就学準備・身辺自立・言語発達】について講演を実施、また保護者からの相談なども承っている。	参観日は色んな様子を見てもらえるように内容の検討と充実を図り、保護者会ではより保護者同士の交流の場を設けることを検討し、実施を図る。
3	療育スキルの向上と充実の継続	毎月、外部オンライン研修の視聴や事業所内研修を行ない、職員の支援の質の向上と、知識を深め、学び得たことを児童の発達段階に合わせて療育支援を行なっている。	研修の頻度をもう少し上げてより充実と継続を図るようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングが周知されていないこと	説明や発信の弱さを感じている。	職員、個々が説明や発信を強くできるように研修等を行う。
2			
3			